

リックからワクワク情報が満載！ [ワクワクリック]

Waku Waku Lic

● Vol.89



圧巻の大屋根リング。下から見上げると、美しく組まれた木材の構造美が目を引きまします。釘などの金物はほとんど使われておらず、柱に梁を差し込む「貫（ぬき）工法」で組み上げられています。この伝統技法は、清水寺にも用いられています。



清水寺などにも採用されている「貫工法」

歩くだけでも楽しい！ 会場内散策



続いて、会場内を散策。私たちは建設業に携わっていることもあり、どうしても建築にまつわる展示や構造物が目いきます。まず目を引いたのは、通りがかりに出会った2つのデザイナーズトイレ。ひとつは、様々な形状の白い壁面が印象的な「多様性」をテーマにしたトイレ。障がい、国籍、宗教など、様々な背景を持つ人々への配慮をもとに設計されたそうです。もうひとつは「島の蜃気楼」と名付けられたトイレで、3Dプリントによるポリカーボネートパネルの外壁に人や風景が映り込み、見るたびに表情を変えます。こちらは会期終了後に解体・粉砕され、再利用される予定で、その儚さまさに「蜃気楼」のようです。

デザイナーズトイレ



多様性トイレ

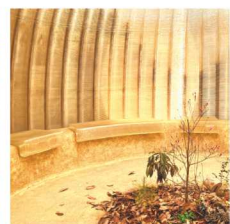


蜃気楼トイレ



ポリカーボネートのため硬い壁面

森になる建築



こちらの「森になる建築」は、自然との共生をテーマにした休憩スペースです。生分解性樹脂を用いて3Dプリントで製作され、3週間にわたり24時間体制で連続出力により製作されました。外側に貼られた白い紙には植物の種が含まれており、時間とともに表面から草木が芽吹き、建物と一緒に自然へ帰ります。



会場内の喧騒から一変、大屋根リングの上に広がる静寂と夕焼けに染まる空。曙光に見紛うこの空を見て、自然と思い浮かぶとある映画のエンディング。ニーナ・シモンの歌声が聴こえたのは気のせいでしょうか。

紙面ではごく一部をご紹介しましたが、
当社オンラインサイトで、
その他パビリオンの視察レポートも公開しています！



大阪・関西万博レポート

なんと東亜コルクの 展示ブースが登場

プチ



ポルトガル館 + 東亜コルク

topacork



隈研吾氏がデザインを手がけたポルトガル館。「海」をテーマに、1万本ものロープを使って大胆に表現された外観が印象的です。そんなポルトガル館のイベントスペースに、ポルトガルの重要産業の一つである「コルク製品」を取り扱う東亜コルクさんが出展されていました。なお、このロープは万博終了後に再利用される予定との事。



ブースの紹介にも熱が入るスタッフ。



盛況な東亜コルクブース内。



ポルトガル館内部のレストランの床には「トッパーアートコルクAT-HM-05 / 白色」が採用。



東亜コルクの内装材の展示。



「コルク」のリサイクルの流れを実物で紹介。

本体であるポルトガル館のテーマは「海、青の対話」。周囲360度のスクリーンにより、海洋保護に警鐘を鳴らし、人類と海洋のあるべき姿を、迫力の映像と海からの心を揺さぶるメッセージと共にインスタレーション※で表現。



タッチパネルで詳細をお勉強。



「海」がテーマのポルトガル館ですが、スタッフのユニフォームは、コルク柄柄？



あなたに食べ物を与え
I feed you.

※インスタレーション：空間全体を作品化するようなアート表現。音や光、映像、造形などの組み合わせによりアートが体験できる。



タチカワブラインド 新製品発表会2025

5月15日から8月1日までの期間、東京会場を皮切りに全国15会場で開催中です。ウェルビーイングをキーワードに心と体の健康に着目したライフスタイルの提案や、新デザイン、新機能などをご紹介します。



タチカワブラインドで満たされる
心と暮らし
heart & life

ロールスクリーン ラルクシールド タテ型ブラインド ラインドレープ



シンプルモダン
「PHYTO」
フィット

ソフトモダン
「CALM」
カム

ガーデンナチュラル
「FUN」
ファン

ウォームナチュラル
「SLOW」
スロウ

柄部分に光を透過する「オーバー加工」が施された生地もラインアップ。ざっくりと立体的に織り上げられた意匠性の高い生地もご用意しています。

新しくなった生地ラインナップで、デザインと空間が調和する、4つのデザインカテゴリーが紹介されていました。



タテ型ブラインド ラインドレープ レールジョイント仕様

大型現場の搬入に便利な「レールジョイント仕様」をご紹介します。ジョイント部分もスラットの移動が可能のため、片開き・幅6mまで1台の製品として一斉に操作ができます。



接続は、レール内部のシャフトと固定金具を差し込んでビス止めするだけ。

「バッテリー仕様」の対応商品が拡大

好評の「バッテリー仕様」の対応商品に、タテ型ブラインドやロールスクリーン、カーテンレールなどが拡充されました。



約3時間の充電で3ヶ月使用できるとの事。ケーブル先端に内蔵されたマグネットで、充電時に端子へ簡単に接続できます。

その他地域の開催スケジュールはこちら



商品展示会「ネオフェスタ2025」

一年一会

5月15日から8月29日までの期間、東京会場を皮切りに全国15会場で開催中です。安全性や機能性の高い製品ラインアップが特徴的でした。



調光ロールスクリーン ha・na・ri(ハナリ)



ご要望の多かった遮光生地が、4色のグレースカラーで新登場。

4色展開ですが、繊細なカラーバリエーションのため実物をご確認下さい。

ウッドブラインド クレール カラーアソート

カラーアソートは、全8パターンからお選びいただけます。

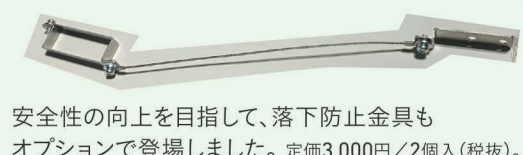


外付け ロールスクリーン ソヨカ

日射熱を86%カットする高い遮熱効果により、会場では特に注目が集まっていました。



落下防止金具



安全性の向上を目指して、落下防止金具もオプションで登場しました。定価3,000円/2個入(税抜)。

アウトセット引戸



施工も簡単なアウトセット引き戸も展示されていました。冷房効率を上げたい時など、簡単に後付けができます。

こだわりのユニフォーム



ニチベイのご担当者様の黒いポロシャツをよく見ると、ボタンダウンの色がニチベイカラー。絶妙な部分にオリジナリティを出しています。

その他地域の開催スケジュールはこちら



TOSO 新製品展示会 2025



5月22日(木)の東京会場を皮切りに、全国19都市で開催中です。「トソー-LAB.(ラボ)」というタイトルのもと、同社の製品開発段階の試作品なども併せ、新製品が開発の背景や過程をご紹介します。

シーリングレール フロウ

このシーリングレールは、主に店舗や事務所での使用を想定した製品です。従来のV吊りタイプにはなかった、意匠性へのこだわりが随所に感じることができます。ノイズレスなデザインを追求し、まるで空間に浮かんでいるかのようなカーテンレールが登場しました。



ジョイント部分は近くで見ても分かりません。



一番上は企画段階の形状。最初は円形でした。それが徐々に形態を変化して結局、断面図はシンプルな長方形になりました。

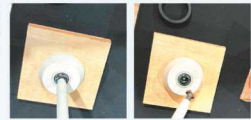
ランドリーバー LB-1



ハンギングバーのシンプルなデザイン性を踏襲したワンタッチで着脱可能な室内物干しです。



特許出願中の「ゆれビタ機能」



ワンタッチで脱着可能

ウッドブラインド ベネウッドスマートグリップ

6月2日
販売開始



上げる操作に手間のかかるウッドブラインドに、グリップを引くだけで「らく速(はや)操作」タイプが登場。

グリップのコードを約4回引くだけで高さ1,800mmのブラインドが全開します。

装飾カーテンレール モノブレンド16



インテリアになじみの良いカラーリングがポイントのレールが新登場しました。「モノ16」のシンプルさを残しつつ、やわらかい印象を表現。

こだわりのユニフォーム



昨年はバンドのツアーTシャツのように、開催地の日程が書かれたTシャツでした。非常に好評だったとの事で、今年もオリジナルTシャツを着用。今年のテーマは「LAB.(ラボ)」という事で、化学式をイメージしたと言われていましたが...白衣とかにかいたら分かりやすかったのでは?と思いました。

その他地域の開催スケジュールはこちら

